

薬剤部新人研修プログラム

教育方針

市立秋田総合病院薬剤部の理念と基本方針

市立秋田総合病院薬剤部では、市立秋田総合病院の理念に従い、患者さんに良質で安全な医療を提供するため、課題に対応できる病院薬剤師の育成を目標に新人教育を行っております。この研修プログラムでは、病院薬剤師として活躍していくための基本業務の習得を目指しています。

研修の概要

研修期間

1年

一般目標

- 当院薬剤部のルールを理解し、正確な業務を実践する。
- 他部署との連携も含めた、薬剤業務の修得。

到達目標

- 院内システムを利用した薬品情報の検索方法を説明できる。
- 調剤内規などの業務上のルールの把握と確認。
- 他部署との関わりを必要とする内容を説明できる。
- ルールに従い自立した薬剤業務が実践できる。

主な指導者

- 調剤エリア主任、注射エリア主任、製剤エリア主任、DI室主任
- 薬剤部職員
- 薬剤部長(最終認証者)

評価法

- 内外用調剤、注射剤調剤、無菌調製については、各エリア主任が業務の修得状況について見極める。
- 日直・当直時の中毒対応についてDI室主任が訓練を行い、習得度を見極める。
- 各エリアの業務内容について日直・当直時に必要な内容について確認試験を行い評価する。
- 薬剤部長が実施研修終了後に最終認証する。

項目	主な内容	指導担当者
総論・ オリエンテーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤部長挨拶と自己紹介 2. 病院新人研修・施設概要、見学 3. 各室業務の概要 	薬剤部長 薬剤師長、院内講師 薬剤師長
調剤業務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調剤業務（内服外用剤等） <ol style="list-style-type: none"> 1) 処方箋の読み方 2) 調剤の手順 処方監査 計数調剤 計量調剤 自己注射薬調剤 麻薬・向精神薬調剤 調剤監査 3) 薬剤交付（外来院内処方） 2. 医薬品在庫管理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 時間外発注方法 2) 時間外納品検収方法 3. 注射剤調剤の手順 <ol style="list-style-type: none"> 1) 処方箋の読み方 2) 調剤の手順 処方監査 計数調剤 計量調剤 麻薬・向精神薬調剤 調剤監査 注射剤払出 3) 薬剤交付（病棟・外来） 4. TPN調剤 <ol style="list-style-type: none"> 1) 払い出し 2) 修正返品対応 5. 抗がん剤のミキシング <ol style="list-style-type: none"> 1) 陰圧操作について 2) 閉鎖器具の取り扱いについて 3) アイソレーターの取り扱いについて 4) 抗がん剤調整手順について 5) 薬剤交付（病棟・外来） 6. 院内製剤 <ol style="list-style-type: none"> 1) 払い出し 2) 返品 7. 持参薬鑑別 	調剤エリア主任 注射エリア主任 注射エリア主任 製剤エリア主任 製剤エリア主任 製剤エリア主任 調剤エリア主任
病棟業務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬歴チェック 2. 処方確認 3. 患者状況の把握 4. 持参薬・患者背景に基づいた処方設計と提案 5. 薬剤管理指導の記録作成 6. 患者への説明と指導 7. 退院指導 8. ハイリスク薬の事前説明および管理 9. アドヒアランス評価 10. 患者に合わせた注射剤の投与量・流量の提案 11. TDMに基づいた処方提案 12. 副作用モニタリングによる処方提案 13. 抗がん剤の病棟におけるレジメンチェック 	配属先 上級病棟担当薬剤師
薬剤部カンファレンス 感染対策研修 医療安全研修	毎週水曜開催 院内の医療安全講演会を受講 院内の感染対策講習会を受講	病棟薬剤師輪番 担当職員 担当職員

新人研修プログラム概要（初年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中央業務研修	調剤・注射・混注業務						※					
病棟			■									
配属（調剤エリア）			■									
院内研修 感染・安全等	■											

※中央業務習得状況確認（薬剤部技師全員）